

都市計画マスタープランの見直し

予算額 837万円

新規

現計画の策定から15年が経過する中、人口減少や少子高齢化の進展といった社会情勢などが大きく変化していることから、これらに対応できるまちづくりを進めるため、都市計画に関する基本的な方針となる『登別市都市計画マスタープラン』の見直しに着手します。



▲市民の方に広く意見を募集し、2021年度に計画を更新予定

要緊急安全確認大規模建築物の耐震化の促進

予算額 1,346万円

市民や観光客などが安全に安心して施設を利用できるよう、耐震改修などに関する費用の一部を補助し、耐震化の促進を図ります。



▲ホテル・旅館の耐震化が進む登別温泉地区

防災に関する計画やマニュアルの策定

市は、災害時に迅速に対応し、市民や観光客への影響を最小限にするため、各種計画やマニュアルの策定に着手していきます。

- 災害が長期化した場合の避難所運営の役割などをまとめた『避難所運営マニュアル』の策定
- 災害発生時、他の自治体などから効果的な支援を受けることを目的とした『災害時受援計画』の早期策定に向けた取り組み
- 近隣市町村などへの迅速な支援活動を効果的に実施する『後方支援計画』の検討
- 災害時にあらかじめ優先度の高い業務を特定し、市民などへの影響を最小限にとどめるほか、早期復旧を図る『業務継続計画（BCP）』の策定
- 倶多楽火山が噴火した場合に関係機関が連携し、防災対応を行う『倶多楽火山避難計画』の策定

共同墓の整備

予算額 2,098万円

少子高齢化などの社会情勢の変化に伴い、安心して焼骨を埋蔵することのできる環境の整備が求められていることから、平成30年11月の供用開始へ向け、第二富浦墓地に共同墓の整備を行います。



▲設置を予定している共同墓のイメージ図

空き家対策の実施

予算額 472万円

拡大

老朽化が進んでいるなど、危険な状態の空き家である特定空家等に対する除却費用の一部補助に加え、平成30年度は新たに『登別市空き家情報登録制度』に登録されている空き家などを自己の居住用に取得してリフォームを行う場合に、工事費用の一部を補助（子育て世帯には補助額を加算）し、空き家などの解消を促進します。



▲空き家の所有者などに対し、適切な管理を推進

市道舗装や排水路整備、道路排水対策の実施

予算額 3億1,520万円

市道の舗装や改良、排水路の整備を行うほか、大雨により道路冠水が起りやすい地域を対象に、排水路の改良や清掃を行います。

また、JCHO登別病院の移転が予定されている登別東町3丁目の道路整備を引き続き行います。



▲道路冠水を軽減させるため、計画的に実施している排水路整備